

明治薬科大学大学院薬学研究科・ドライ系学位論文リスト

2013年2月10日現在

越前宏俊

指導教員（研究室）

＜課程博士＞	
1	門田 佳子 カドタ、ケイコ 透析患者におけるエリスロポエチン療法の至適化を目指す薬剤師 の臨床介入に関する試み 甲 40 2001. 3. 17 博士（臨床薬学） 越前宏俊 （薬物治療学）
2	金森 麻土香 カナモリ、マドカ CAPD 施行患者における抗生物質を中心とした適正な薬物 治療のための研究 甲 41 2001. 3. 17 博士（臨床薬学） 緒方宏泰 （薬剤学）
3	平山 武司 ヒラヤマ、タケン モルネにより誘発される嘔気・嘔吐および傾眠傾向の予防に 関する研究 甲 42 2001. 3. 17 博士（臨床薬学） 緒方宏泰 （薬剤学）
4	中菌 健一 ナカゾノ、ケンイチ 胃関連疾患に対する内視鏡的処置における使用薬剤の個 別化適正使用 甲 54 2005. 3. 15 博士（臨床薬学） 緒方宏泰 （薬剤学）
5	宮島 律子 ミヤジマ、リツコ 動脈硬化性疾患の薬物治療適正化を目指した臨床薬学的 研究 甲 55 2005. 3. 15 博士（臨床薬学） 吉田 久博 （薬物体内動態学）
6	田島 満子 タジマ、ミツコ 高齢者の代謝性疾患に対する薬物治療を適正に遂行する ための医師と患者に対する薬剤師の臨床的実践 甲 57 2006. 3. 14 博士（臨床薬学） 越前宏俊 （薬物治療学）
7	高間 弘幸 タカマ、ヒロユキ 母集団薬物動態解析におけるモデル構築へのブートスト ラップ法の適用に関する研究 甲 58 2006. 9. 8 博士（薬学） 緒方宏泰 （薬剤学）
8	富岡 節子 トミオカ、セツコ 2型糖尿病患者におけるメトホルミン治療効果に影響を与 える諸因子に関する研究 甲 63 2007. 3. 13 博士（臨床薬学） 緒方宏泰 （薬剤学）

9	古宇田 裕子 コウタ、ヒロコ 緩和医療における症状マネジメントを目的とした臨床薬 学的研究 甲 67 2008. 3. 11 博士 (臨床薬学)	緒方宏泰 (薬剤学)
10	張替 ひとみ ハリカエ、ヒトミ 地域保険薬局における緩和医療業務の改善に関する研究 甲 77 2010. 3. 16 博士 (臨床薬学)	吉田 久博 (薬物体内動態学)
11	森 優子 モリ、ユウコ 血漿たん白結合の飽和による非線形薬物動態を示す薬物 の民族間差評価を目的とする母集団薬物動態解析 甲 79 2011. 3. 15 博士 (薬学)	高橋 晴美 (薬剤学)
12	安島 秀友 アジマ、ヒデトモ 転移性結腸・直腸がん一次治療の臨床及び経済的評価 甲 80 2011. 3. 15 博士 (臨床薬学)	高橋 晴美 (薬剤学)

＜論文博士＞		
1	村田 銀蔵 ムラタ、ギンゾウ わが国における細菌性食中毒発生の予測に関する統計学的研究 乙 2 1983. 3. 9 博士 (薬学)	安藤俊夫 (生化学)
2	大野 恵子 オオノ、ケイコ 薬物療法の適正化を支える医薬品情報の構築とその有用性に関する研究 乙 107 2004. 9. 10 博士 (臨床薬学)	岸野吏志 (薬剤情報解析学)
3	山藤 満 ヤマフジ、ミツル 新生児に対する抗菌薬療法の有効性・安全性を確保するための臨床薬学的研究 乙 115 2006. 3. 13 博士 (臨床薬学)	緒方 宏泰 (薬剤学)
4	林 誠一郎 ハヤシ、セイイチロウ 社会から望まれる、薬局薬剤師の医薬品情報活動に関する研究 乙 117 2006. 3. 13 博士 (臨床薬学)	竹内 幸一 (臨床薬理学)
5	伊藤 淳雄 イトウ、アツオ 糖尿病性神経障害の診断評価とエパルレスタットの臨床効果に関する研究 乙 132 2010. 3. 8 博士 (臨床薬学)	竹内 幸一 (臨床薬理学)
6	向井 潤一 ムカイ、ジュンイチ メタアナリシスを用いた 2 型糖尿病患者における経口薬物療法の脂質代謝と降圧効果に関する臨床薬学的研究 乙 139 2012. 3. 8 博士 (臨床薬学)	毛利 公則 (臨床薬剤学)
7	米村 雅人 ヨネムラ マサト がん化学療法誘発悪心・嘔吐抑制効果に対する制吐剤の用量および併用薬剤に関する研究 乙 140 2012. 3. 8 博士 (臨床薬学)	毛利 公則 (臨床薬剤学)